

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年2月16日 (2017.2.16)

【公表番号】特表2016-506413(P2016-506413A)

【公表日】平成28年3月3日 (2016.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2016-013

【出願番号】特願2015-551113(P2015-551113)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 33/24 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 K 31/517 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 19/08 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/10 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

A 6 1 P 5/14 (2006.01)

A 6 1 P 5/38 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/02 (2006.01)

A 6 1 P 11/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 P 7/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/555 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 37/66 F

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 K 37/66 G

A 6 1 K 37/66 B

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 33/24

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 K 31/517

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 1/04
A 6 1 P 1/18
A 6 1 P 13/12
A 6 1 P 19/08
A 6 1 P 15/00
A 6 1 P 13/10
A 6 1 P 13/08
A 6 1 P 5/14
A 6 1 P 5/38
A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 21/00
A 6 1 P 17/00
A 6 1 P 11/02
A 6 1 P 11/04
A 6 1 P 9/00
A 6 1 P 35/02
A 6 1 P 7/00
C 0 7 K 14/555 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月6日(2017.1.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

腫瘍がある被験者の悪性胸腔液貯留、悪性腹腔液貯留及び/又は悪性心嚢液貯留を除去又は減少させるためのSEQ ID NO:2にコードされた組換えインターフェロンを含む組成物。

【請求項 2】

前記腫瘍は固形腫瘍である、請求項1に記載の組成物。

【請求項 3】

浸潤投薬、胸膜内投薬、腹腔内投薬、心嚢内投薬、胸腔内投薬と腹膜内投薬の一種又は多種を含む投薬経路により前記被験者に前記組換えインターフェロンを投与する、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項 4】

前記組換えインターフェロンは1回約30 µg～約2000 µgで投与する、請求項1～3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記組換えインターフェロンを全身投与により前記被験者に追加的に投与する、請求項3に記載の組成物。

【請求項 6】

前記被験者に少なくとも一種の他の抗腫瘍薬物を投与した、請求項1～5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記他の抗腫瘍薬物は、化学療法剤、標的薬物と生物製剤からなる群より選択されるものである、請求項6に記載の組成物。

【請求項 8】

腫瘍のある被験者における腫瘍再発若しくは転移を防止する、又は無腫瘍状態を延長若

しくは維持するためのヌクレオチド配列SEQ ID NO:2にコードされた組換えインターフェロンを含む組成物であって、

前記組換えインターフェロンが投与される前に、前記被験者が少なくとも一種の抗癌療法で治療された、組成物。

【請求項 9】

局部投与 (local administration) 又は局所投与 (topical administration) により、被験者の腫瘍巢にSEQ ID NO:2にコードされた組換えインターフェロンを投与することを含む、被験者の腫瘍転移巣を除去又は減少させるためのSEQ ID NO:2にコードされた組換えインターフェロンを含む組成物。

【請求項 10】

非手術的に被験者の腫瘍を除去する又は被験者の腫瘍の大きさを減少させるためのSEQ ID NO:2にコードされた組換えインターフェロンを含む組成物。

【請求項 11】

前記腫瘍は切除不可能な腫瘍である、請求項10に記載の組成物。

【請求項 12】

全身投与、局部投与と局所投与の少なくとも一種により、被験者に前記組換えインターフェロンを投与する、請求項10～11のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 13】

前記局部投与又は局所投与は、腫瘍内投与及び噴霧投与の一種又は多種を含む、請求項12に記載の組成物。

【請求項 14】

前記被験者は、化学療法、放射線療法、手術療法、介入療法、生物学的療法、遺伝子治療、アブレーション療法、免疫治療、標的療法、漢方薬療法からなる群より選択される少なくとも一種の他の抗癌療法が与えられた、請求項10～13のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 15】

組換えインターフェロンは全身投与、局所投与と局部投与の少なくとも一種により被験者に投与される、被験者の肺癌を治療するためのSEQ ID NO:2にコードされた組換えインターフェロンを含む組成物。